

柔軟仕上げ剤の香りは気になりますか？ ～商品テストから見える「におい」について～

柔軟仕上げ剤は、衣類の風合いを柔らかく保つことと静電防止効果を持つものですが、最近は芳香性を工夫した商品の品ぞろえが増え、消費者が香りの種類や強さを選択できるような様々な商品が販売されています。ところが、柔軟剤のにおいに関する相談情報が毎年寄せられています。主な事例としては、『隣人が使用している柔軟剤のにおいがきつく、頭痛やめまいがする』などと健康危害にあったという申し出情報が多くみられ、症状は咳、息苦しい等といった呼吸器障害や、頭痛、めまい等の体調不良が含まれています。相談情報は6月から9月にかけて、他人が使用したもののにおいについて多く寄せられていることがわかりました。

国民生活センターでは、相談情報を分析し、柔軟剤を使った洗濯物から放散される揮発しやすい成分の量や、においの強度について商品テストを実施し、商品の選択や使用上の注意点をまとめて情報提供していますので紹介します。詳しくは、国民生活センターのホームページをご覧ください。

柔軟仕上げ剤の香りに関する商品テストでわかったこと

テストの内容

- ・全自動洗濯機の標準コースで洗濯を行い、すすぎの際に柔軟剤を投入し、洗濯衣類を部屋干しして室内の空気について調査する。香料成分を含んだ成分は揮発する特性があるので、総揮発性有機化合物の測定と臭気判定士による「においの強さ」を判定した。
- ・柔軟剤の使用量は、柔軟剤なし（洗剤のみ）、柔軟剤を表示量使用、柔軟剤を表示の2倍量使用で比較する。
- ・柔軟剤は「無香性」、「微香タイプ」、「香りの強いタイプ」を使用する。
- ・洗濯物は、綿素材の衣類とポリエステル主材料のフリースの衣類を使用する。

テストの結果

- 無香性や微香タイプの柔軟剤では、表示量で使用と2倍量使用した場合と比較しても揮発性有機化合物の量はほぼ変わらないが、香りの強いタイプを2倍量使用すると顕著に上昇しました。
- おいの強さを比べると、微香タイプと香りの強いタイプのにおいの強さに明らかな差は認められませんでした。無香性の柔軟剤を表示通り使用した場合は、柔軟剤を使用しない場合よりにおいがわずかに弱くなりました。

消費者へのアドバイス

- 柔軟仕上げ剤は、衣類等の柔軟効果や静電気防止効果を商品の目的としているものですが、現在販売されている商品は、各メーカーが芳香性を工夫し他社との差別化を図っており、消費者も本来の効果より香りに着目して商品を選択していることが多いのが現状です。香りの選択は嗜好性によるものであり、自分にとっては快適なおいでも、他人は不快に感じ、中には体調を崩すという申し出もあることを認識しておきましょう。
- 香りの強いタイプの柔軟仕上げ剤を表示の量より多く使用すると、総揮発性有機化合物が顕著に上昇します。これらの成分に強く反応してしまう人への配慮を忘れずに、使用量の目安を確認し、過度な使用は避けましょう。私たちは、自分が慣れたにおいには感じにくくなる傾向にあるため、使用量が徐々に増えてしまうことがあるので気をつけましょう。
- 現在は「香りの強い」「香り長続き」といった香りに着目した商品が多種に出回り、メーカー各社が商品パッケージやホームページで「香りの強さの目安」や「香りに関する注意喚起」を表示しています。柔軟仕上げ剤のにおいの強さが気になる場合は、商品パッケージ等に記載されている「香りの強さの目安」を確認し、商品を選ぶ際の参考にしましょう。

[令和2年4月 国民生活センター公表]

消費生活相談のことなら・・・

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) 0584-68-0185
- 消費者ホットライン ☎^{いやや}188

